

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金												令和07年04月01日
計画の名称	花畑川周辺地区都市再生整備計画											
計画の期間	令和０７年度 ～ 令和１０年度（４年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	足立区											
計画の目標	大目標：豊かな水と緑に囲まれ、賑わいのある安全で快適なまちづくり 目標１：４つの河川や葛西用水など水資源に恵まれた地域のネットワークを形成する 目標２：良好な交通環境を整備し、歩行空間の安全性向上を図る 目標３：景観に優れた水辺環境を整備し、その情報発信を充実させ、より多くの人々が集い、憩い、楽しむことのできるコミュニティの場の構築											
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	107	A	107	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6末		R10末
1	①世論調査において、公園や緑地などの整備に関する満足度を高める。			
	①足立区政に関する世論調査において、第八地域における公園や緑地などの整備に関する満足度	38%	%	39%
2	②世論調査において、道路や交通網の整備、交通安全対策に関する満足度を高める。			
	②足立区政に関する世論調査において、第八地域における道路や交通網の整備、交通安全対策に関する満足度	13%	%	14%
3	③交通量調査による富士見歩道橋及び隣接道路の歩行者数			
	③交通量調査による富士見歩道橋及び隣接道路の歩行者数	748人/12時間	人/12時間	800人/12時間

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	足立区	直接	足立区	—	—	都市再生整備計画事業（ 花畑川周辺地区）	道路、高質空間形成施設等 150.5ha	足立区	■	■	■	■		107	—	—
											小計						107		
											合計						107		

事前評価チェックシート

計画の名称： 花畑川周辺地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]

都市再生整備計画

はなはたがわしゅうへん ち く
花畑川周辺地区

とうきょうと あだち く
東京都 足立区

令和7年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☒
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	東京都	市町村名	足立区	地区名	花畑川周辺地区	面積	150.5	ha
計画期間	令和7年度～令和10年度	交付期間	令和7年度～令和10年度					

目標 大目標:豊かな水と緑に囲まれ、賑わいのある安全で快適なまちづくり 目標1:4つの河川や葛西用水など水資源に恵まれた地域のネットワークを形成する 目標2:良好な交通環境を整備し、歩行空間の安全性向上を図る 目標3:景観に優れた水辺環境を整備し、その情報発信を充実させ、多くの人々が集い、憩い、楽しむことができるコミュニティの場の構築							
目標設定の根拠 令和6年3月 本地区は、足立区の北東部に位置し、東は葛飾区との行政境の中川、西は綾瀬川、南は都市計画道路補助第259号線、北は八潮市との都県境の圀川に囲まれ、地区中央には葛西用水親水水路が南北に走るなど、区内でも水と緑に恵まれた地域となっており、都市マスなどの上位計画では、これらの資源を活かしたまちづくりを進めることになっている。一方、地区の中央部を東から西に貫流する花畑川は、昭和初期に中川と綾瀬川との舟運のため、花畑運河として整備され、約90年が経過し、平成13年からは準用河川として区が管理を行っている。 花畑川の整備については、平成12年度から地元住民と区で「花畑川を考える会」を設置し、平成14年3月に『花畑川環境整備基本計画』を策定した。その後、区の財政難による工事の着手が遅れるなか、橋梁の架け替えと合わせた橋梁部付近の環境整備を進めたが、工事の不調が続いたことをきっかけに、新たに平成30年から再度、地域住民との意見交換会を開催して『新花畑川環境整備計画』を令和2年度に策定し、「身近な自然としての河川」「暮らしの中の河川」「コミュニティの核としての河川」を整備方針として、全体を4つの工区に分けたうちの1つの工区で環境整備工事を行っている。さらに、花畑川環境整備を進めるにあたり、細かな整備内容や利用方法などを検討するため、改めて令和4年7月に区と地域住民などで構成する「花畑川を考える会」を再発足し、検討しているところである。 ○現況 ・花畑川は整備後約90年が経過し、護岸の一部で老朽化が進んでいる。また、富士見歩道橋は車道接続部の形状等が悪いため、歩行者・自転車の事故が発生している。 ・当初の「花畑川環境整備計画」の策定から約20年以上が経過し、計画通りに進んでおらず、地域住民からの早期整備の陳情が区議会で採択されている。 ・足立区景観計画で、圀川は景観重要施設、圀川沿い地区は、特別景観形成地区に位置付けられており、神明六木遊歩道が整備されている。また、この遊歩道は、東京都の武蔵野のみちの舎人コースにも位置付けられている。 ・花畑川から圀川までの中川で、一部区の用地買収も含め国の堤防の嵩上げ工事が、また、当該地区中央の東西に走る都市計画道路補助第261号線の整備を都が施行している。 ・本地区のほぼ中央の南北には、都県境の八潮市から南行政境の葛飾区まで約4kmに渡り葛西用水親水水路が整備されている。							
課題 ・花畑川は護岸がバレット構造であり、堤内地側が高い区間があり、周辺からは川を視認することが出来ず、隔離された構造で一体性が感じられない。 ・花畑川環境整備基本計画策定から約20年以上経過しているが、整備が遅れている。 ・当該地区は水資源に恵まれ、西側、北側、東側の河川沿いには遊歩道なども整備されているが、中央部を東西に結ぶ花畑川沿いは、歩道幅員が十分に確保できておらず、周遊性が十分とはいえない。 ・花畑川の中央部に位置する富士見歩道橋は、両端部が急峻坂路及び階段でバリアフリー構造になっておらず、車道接続部にたまり空間も有していないため、交通事故等が発生した経緯があり、地域住民からも架け替え要望がある。 ・当該地区には約1.2万人が居住するが、大きな広場は無く、徒歩圏における中心的な場所が存在していない。 ・葛西用水親水水路について、地元住民より地域の憩いの場としてベンチ設置等の整備要望がある。							
将来ビジョン(中長期) ①足立区基本計画【令和2年度改定(令和2年度から令和6年度)】 ・良好な景観の形成と快適なまちづくり ・緑のある空間の創出や自然環境の保全 ・水害の防止と水害に備えた区民意識の向上 ・スムーズに移動できる交通環境の整備 ②都市計画マスタープラン【平成29(2017)年度を初年度として概ね10年間】 ・花畑川の環境整備を行い、水と緑のネットワークを構築 ・既存の神明六木遊歩道や葛西用水親水水路、拠点公園などの保全 ・河川の改修や都市計画道路の整備を行い、地震、水害に強いまちづくりの推進 ・都市基盤の未整備地区は、都市計画道路の整備などに合わせ、地区計画等を導入し都市基盤を構築 ③足立区地区環境整備計画(平成30年3月改定) ・都市計画道路に合わせたまちづくりと、水と緑にあふれたまちづくり ④第二次足立区景観計画【令和2年度から概ね10年間】 ・この地区は「身近な水と緑の景観ゾーン」に位置付けられ、花畑川、圀川、中川、綾瀬川、葛西用水親水水路が「景観の骨格」を形成している。 ・景観形成方針:「沿川のまとまった樹林地や公園、公共住宅団地内の既存樹林等を活かし、緑のネットワークの形成や歩行者空間、遊歩道の整備や改善に努め、潤いのある良好な景観形成を図ります」 ⑤新花畑川環境整備計画【令和2年度策定(令和3年から10年程度)】 ・花畑川の護岸整備による防災性の向上 ・散策路の整備を行うことによる水と緑のネットワーク化 ・富士見歩道橋の架け替えによる安全性の向上と利便性の確保 ⑥街路樹維持管理指針(令和5年3月策定) ・葛西用水桜通りを重点路線とし、シンボルである桜を、樹木医による定期診断を行うことで維持管理を強化。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公園や緑地などの整備に関する満足度	％	足立区に関する世論調査 ※第八地域を使用	整備効果による目標①の達成に対する指標	38.5%(令和5年度)	R6年度	39.5%	R10年度
道路や交通網の整備、交通安全対策に関する満足度	％	足立区に関する世論調査 ※第八地域を使用	整備効果による目標②の達成に対する指標	13.7%(令和5年度)	R6年度	14.5%	R10年度
富士見歩道橋及び隣接道路の歩行者数	人	交通量調査による実測値	整備効果による目標③の達成に対する指標	748人/12時間	R6年度	800人/12時間	R10年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【4つの河川や葛西用水など水資源に恵まれた地域のネットワークを形成する】 ・水と緑のネットワークサインや花畑川環境整備事業案内板の設置 ・水辺空間を確保するため道路の拡幅に必要な護岸の整備 ・緑豊かで水辺らしさを感じることができる良好な景観を有した散策路、緑地帯の整備 ・整備内容及び既存資源に関するリーフレットの作成 ・地域の憩いの場として、葛西用水親水水路の親水施設整備	【基幹事業】(地域生活基盤施設)案内板設置事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋取付道路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋西側散策路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)葛西用水親水水路高質化事業 【提案事業】(地域創造支援事業)リーフレットの作成 【関連事業】その1散策路工事 【関連事業】神明六木遊歩道・樹名板設置、落ち葉収集、軒樋清掃助成、軒樋カバー設置助成 【関連事業】保存樹木・保存樹林の管理支援・補助金 【関連事業】葛西用水桜通り・樹木医診断
【良好な交通環境を整備し、歩行空間の安全性向上を図る】 ・富士見歩道橋の架け替え ・歩道橋と散策路、区道を結ぶスロープの整備 ・緑豊かで水辺らしさを感じることができる良好な景観を有した散策路、緑地帯の整備 ・補助261号線の整備 ・地域の憩いの場として、葛西用水親水水路の親水施設整備	【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋架け替え事業 【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋取付道路整備事業 【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋西側散策路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋取付道路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋西側散策路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)葛西用水親水水路高質化事業 【関連事業】自転車走行環境整備事業 【関連事業】補助261号線
【景観に優れた水辺環境を整備し、その情報発信を充実させ、多くの人々が集い、憩い、楽しむことができるコミュニティの構築】 ・富士見歩道橋の架け替え ・水と緑のネットワークサインや花畑川環境整備事業案内板の設置 ・高欄及び橋面舗装の修景 ・歩道橋と散策路、区道を結ぶスロープの整備 ・緑豊かで水辺らしさを感じることができる良好な景観を有した散策路、緑地帯の整備 ・整備内容及び既存資源に関するリーフレットの作成 ・交流拠点となる緑地空間及び広場空間の確保(富士見歩道橋下流) ・地域の憩いの場として、葛西用水親水水路の親水施設整備	【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋架け替え事業 【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋取付道路整備事業 【基幹事業】(道路事業)富士見歩道橋西側散策路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋架け替え事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋取付道路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)富士見歩道橋西側散策路整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設)葛西用水親水水路高質化事業 【基幹事業】(地域生活基盤施設)案内板設置事業 【提案事業】(地域創造支援事業)リーフレットの作成 【関連事業】その1散策路工事
その他 【花畑川を考える会】 ・平成12年9月に区と地域住民の代表が、「花畑川を考える会」を設置し、計6回の議論を経て、平成14年3月に「花畑川」環境整備基本計画」を策定した。 ・花畑川に架橋されている富士見歩道橋が数回にわたり不調となったため、再度、計画の見直しを行うため、平成30年6月から区と地域住民の代表が計5回の意見交換会を開催し、主要要望①ヒートアイランド対策、②みどり面積の確保等を受け、新たに「花畑川の護岸整備計画(案)」をまとめた。 ・新たな花畑川環境整備を進める中で、花畑川と接続する公園との接続部の親水整備について検討を行うため、改めて、令和4年7月に区と地域住民、学識経験者、地域の小中学校の代表者で構成する「花畑川を考える会」を設置し、令和6年5月時点まで5回の会議を重ね、整備内容等の検討を進めている。 【整備工事の状況及び今後の計画】 ・地域住民から足立区議会に対し、早期の花畑川の環境整備についての陳情が出され、採択されている。 ・令和4年度から、富士見歩道橋下流部において、区単独事業として道路拡幅盛土・土留石積を整備し、続いて令和6年度から散策路整備工事を実施中で令和7年度から一部供用開始予定である。 ・なお、令和10年度以降は、既往整備区間及び本事業区間以外の区間を事業化し、西端の綾瀬川から東端の中川までの全1.4kmを散策路として整備し、本事業区間の外縁部の河川や葛西用水路をネットワークで結ぶことを構想している。 【葛西用水沿道地区】(Ⅰ期:平成19年度～平成23年度、Ⅱ期:平成24年度～平成28年度) ・本事業区域の北部及び東部では、平成19年度から平成28年度に都市再生整備計画事業が実施された。 ・この事業では、佐野六木土地区画整理事業、葛西用水沿いの桜並木整備、中川遊歩道整備、花見橋改修(歩道)等が実施された。 ・今回及び次期以降の事業では、これらと連動して一体的に活用するための事業を実施するものである。	

様式(1)-④-2

「都市再生整備計画事業（社会資本整備総合交付金）」を活用の場合、本様式を使

(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

都市再生整備計画の区域

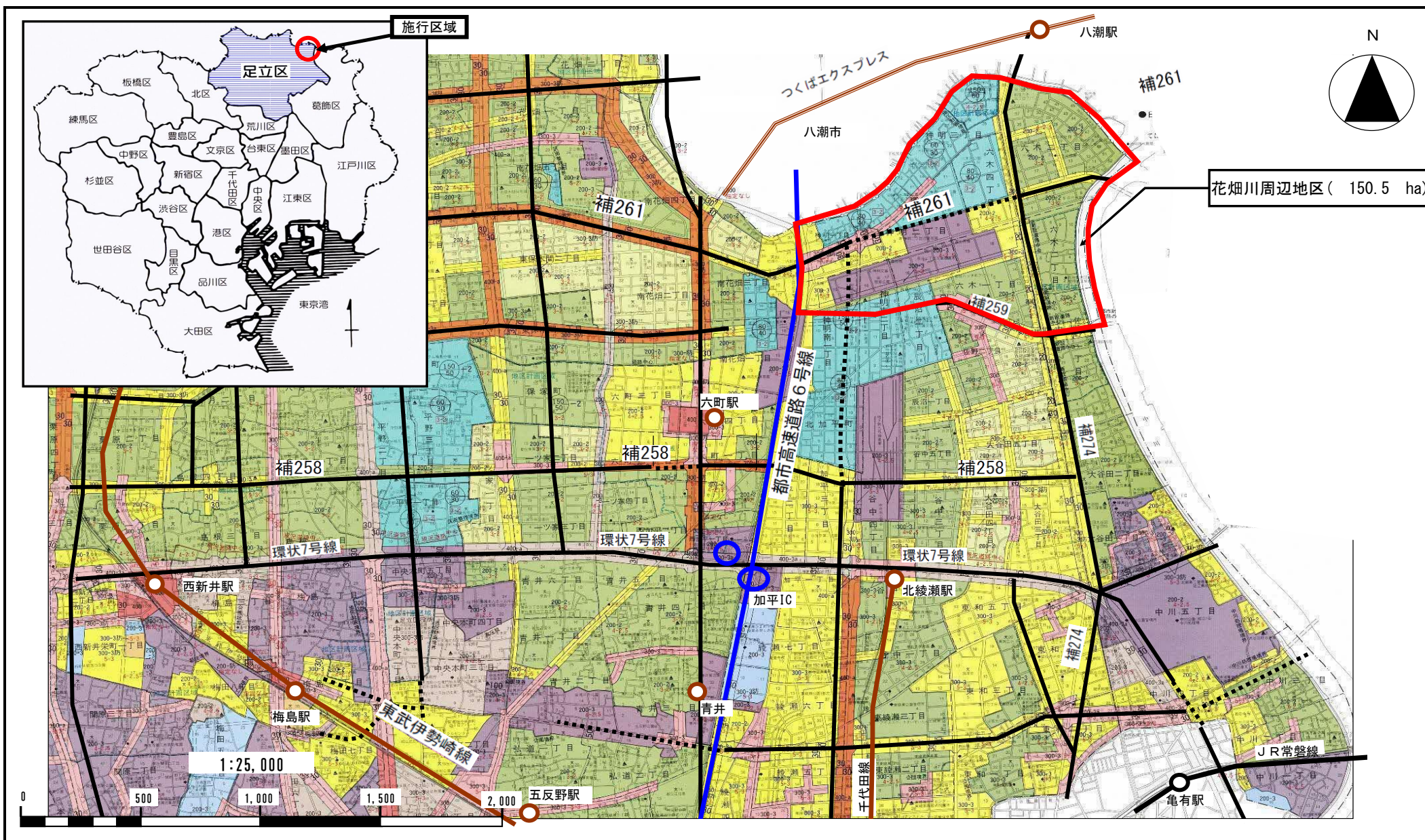
花畑川周辺地区(東京都足立区)

面積

150.5 ha

区域

神明一・二・三丁目、神明南一・二丁目、辰沼二丁目



花畑川周辺地区(東京都足立区) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	大目標:豊かな水と緑に囲まれ、賑わいのある安全で快適なまちづくり	代表的な指標	公園や緑地などの整備に関する満足度	(%)	38.50%	(R6年度) →	39.5%	(R10年度)
	目標1: 4つの河川や葛西用水など水資源に恵まれた地域のネットワークを形成する		道路や交通網の整備、交通安全対策に関する満足度	(%)	13.70%	(R6年度) →	14.5%	(R10年度)
	目標2: 良好な交通環境を整備し、歩行空間の安全性向上を図る		富士見歩道橋及び隣接道路の歩行者数	(人)	748人/12時間	(R6年度) →	800人/12時間	(R10年度)
	目標3: 景観に優れた水辺環境を整備し、その情報発信を充実させ、多くの人々が集い、憩い、楽しむことができるコミュニティの場の構築							

